

つくば市議会提言書
令和5年10月3日 予算決算委員会

事業名	魅力発信事業
事業概要	広報紙及びかわら版の発行や、市公式HPのリニューアル及び運用等の広報推進事業並びにシティプロモーションを行う。また、職員向けの広報カスキルアップ等事業を実施する。
提言内容	
<p>市民に対して広報するチラシは、単に「伝える」のではなく、実際に「伝わる」「目に留まる」ものを作成すること。そのために、チラシに対する意識改革を全職員に行い、チラシデザインチェックにおいても、現状の仕組みを検証すること。</p> <p>YouTubeやSNSを活用した情報発信についても、その内容や効果について検証をした上で、ガイドラインの作成を行い、全体的な整合性を取りながら、魅力発信の向上に努めること。</p> <p>また、今後に向けて、効果的な「シティプロモーション戦略」の策定が必要と考える。そのための根拠となる「つくば市に対するイメージ調査」を、市内外・TX沿線地域・都内や関東近県等を対象に行うこと。</p>	

予算決算委員会総務文教分科会

提言に対する対応
<p>広報戦略課では、令和元年度から全職員を対象とした広報力向上セミナーを実施するとともに、今年度からチラシ作成に特化した広報実践講座や、新任職員を対象とした『「伝える」から「伝わる」広報へ』をテーマに広報研修を実施しており、全職員へのチラシに対する意識改革に取り組んでいる。また、市が発行するチラシについては、広報戦略課においてデザインチェックを行っているが、職員一人一人のチラシ作成力をより向上させていくため、今年度からデザインテンプレートやチェックリストを全庁的に共有できる仕組みとした。今後もそれらの内容を随時検証し、更新していく。</p> <p>デジタル媒体による情報発信については、市公式 SNS と YouTube「かわら版チャンネル」を活用した結果、YouTube のチャンネル登録者数が昨年比 500 人増の 2,110 人となった。なお、市公式 X や FB、YouTube かわら版チャンネル等は、一</p>

元的に広報戦略課で管理し、禁止事項への抵触等をチェックした上で発信している。一方、各課で運用している SNS もあるため、今後はガイドライン等の作成も視野に入れて全庁的な整合性を図りながら、さらなるつくばの魅力発信に努めていく。

シティプロモーション戦略の策定については、つくば市戦略プランの基本施策「シティプロモーションを推進する」において 2030 年に目指すべき未来像を定めており、その実現に向け、周辺市街地の魅力発信を通じた関係人口の創出など、つくばに愛着を持つ人を増やす取組に力を入れている。なお、つくば市に対するイメージ調査については、移住相談者や移住支援金交付者などに対してニーズを聞き取り、分析して今後のシティプロモーションの参考とする。

(広報戦略課)

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

- ・「伝わる」「目に留まる」チラシ作成のノウハウを蓄積し継承していただきたい。
- ・デジタル媒体による情報発信に遅れをとらないようにしていただきたい。
- ・市民につくばの魅力発信をしてもらうことが大きな力になる。そのためにも、市民がつくば市に愛着を持てるような取組や情報発信をしていただきたい。
- ・市外の人に対するつくば市のイメージ調査がより重要と考える。今後、深掘りしていただきたい。
- ・関係部署と連携し、庁内の連動性を高めるような形で事業を進めていっていただきたい。

(総務文教分科会)

つくば市議会提言書
令和5年10月3日 予算決算委員会

事業名	図書館運営事業
事業概要	学校訪問ブックトーク等の読書推進事業、自動車図書館運営事業、図書館ボランティア事業、つくば市図書館協議会運営事業等を行う。また、図書館資料の収集、整理、保存及び貸出事務を行う。
提言内容	
<p>つくば市中央図書館は、建設後30年が過ぎた。書架スペースも他市と比較し、十分とは言えない。そのような中、図書館に求められる役割は、時代と共に変化してきているが、その必要な役割・機能の提供のためには、現状ではハード・ソフト共に不足している。</p> <p>これらの課題解決に向け、研究学園都市「つくば市」にふさわしい、新しい中央図書館の建設に向け、構想の検討を行うこと。具体的には、つくば市図書館懇話会による提言書「つくば市図書館の将来構想2020ふれあいライブラリーパーク」の内容をもとに、計画を着実に進めることを求めたい。</p>	

予算決算委員会総務文教分科会

提言に対する対応	
<p>つくば市図書館懇話会提言書では、つくば市の図書館の将来ビジョンを「ふれあいライブラリーパーク」というフレーズで表しています。「ふれあいライブラリーパーク」とは、公園のように出入りが自由な開かれた図書館で、人と人、人と本、本と本がふれあうことにより、地域の課題解決や、新たなモノ/コトを生み出す図書館です。また、将来ビジョンは、次のような4つのコンセプトから構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none">・第1コンセプト「青空×図書館」 すべての市民が気軽に自由に利用できる図書館・第2コンセプト「カフェ×図書館」 市民の居場所となるサードプレイスとしての滞在型図書館	

・第3コンセプト「多様性×図書館」

コミュニケーションを通じて相互理解を促進する図書館

・第4コンセプト「イノベーション×図書館」

地域の課題を解決し、新しい価値を生み出す図書館

つくば市図書館懇話会提言書では、4つのコンセプトのほか、3段階のステップアップフローも示されております。

現状では、第1段階にあるつくば市全域に図書館サービスを拡大するために、自動車図書館車を増やすと共に、市役所コミュニティ棟を初めとする貸出・返却ポイントの増設や研究学園小学校図書室の地域開放を行いました。

そのほか、第2段階にある滞在型図書館を目指し、令和6年2月に中央図書館の閲覧席を増設したほか、令和6・7年度には中庭を改修し、利用者が飲食を伴いながら滞在する事が可能な場所を設ける予定です。

第3段階では、新しい中央図書館の建設にも触れられておりますが、第1段階及び第2段階での取組みの検証などを行いながら、新しい中央図書館建設に向けた構想の検討を進めてまいります。

(中央図書館)

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

現行の取組は評価する。しかし、現在の図書館建設から数十年経ち老朽化が進み、利用者のニーズも変わってきているので、カフェ併設や滞在型といった他市の事例も参考に、スピード感を持って新しい図書館の建設を進めていただきたい。

(総務文教分科会)